

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

全天候型まちなかふれあい動物王国整備事業

2 地域再生計画の作成主体の名称

福井市

3 地域再生計画の区域

福井市の全域

4 地域再生計画の目標

戦後及び福井地震後に整備された建物が一斉に更新時期を迎える中、本市のまちづくりは、再生のための大きな岐路に立たされている。まちに活力と賑わいを呼び戻すには、本市が持つ地域資源を最大限活かし、まちに人の流れを生み出すことが喫緊の課題である。

また、平成 34 年度には北陸新幹線福井開業を控え、開業後の地域間競争が激しくなることが予想されることから、本市の個性を活かした魅力創出が必要である。まちなかに優れた自然環境を有していることは、本市の個性的な魅力であり、他都市との差別化を図る重要なまちなかの観光資源である。

本市が、これまで整備を進めてきた商業、歴史、文化、食などの拠点に加え、足羽山の自然環境の魅力を活かした拠点の整備を行うことで、まちなか観光を推進し、中心市街地での購買力向上や交流人口の増加を図り、観光振興、商業活性化を目指す。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 (1年目)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)
全天候型まちなかふれあい動物王国(足羽山遊園地含む)の入場者数	120,000人	0人	0人	10,000人
中心市街地の商店年間商品販売額	26,000百万円	0百万円	0百万円	1,000百万円
中心市街地の歩行者等通行量(平日・休日平均)	30,002人	0人	0人	3,000人

	平成31年度 (4年目)	平成32年度 (5年目)	KPI増加分の 累計
全天候型まちなかふれあい動物王国(足羽山遊園地含む)の入場者数	10,000人	10,000人	30,000人
中心市街地の商店年間商品販売額	1,000百万円	1,000百万円	3,000百万円
中心市街地の歩行者等通行量(平日・休日平均)	3,000人	3,000人	9,000人

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

福井市のまちなか観光拠点の新たな核として、豊かな自然環境を本市中心部に残す足羽山遊園地に、ふれあい動物王国を整備する。新築する動物舎は、全国でも数箇所しかない全天候型とするほか、柵や檻を設けず動物と人との境界を無くし、行動展示により動物本来の動きが見られる屋内動物舎の中へ自らが入り、触れ合える新たなスタイルとするとともに、野生の環境を再現する異種混合展示を取り入れた施設とする。

さらに、空中デッキ通路を設けることにより、普段は間近に見ることのできない高所での動物の生態を、仕切りガラスのない空間で、立体的に観察できる全国にも類がない施設とする。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生拠点整備交付金(内閣府):【A3007】

① 事業主体

福井市

② 事業の名称

全天候型まちなかふれあい動物王国整備事業

③ 事業の内容

全天候型屋内動物舎を整備し、天候に左右されず、ゆっくりと動物を見ることが
できる展示空間とする。柵がない至近距離で小型動物と触れ合え、異種混合展示や
行動展示など新たな動物展示ができる施設とする。

まちなか観光の拠点として動物王国を位置づけ、その核となる動物舎を新築する
ことにより、自然を活かした観光拠点としてのコンテンツ力を高める。まちなかで
自然、歴史、食文化を一度に体験できる環境を整えることで、若年層や親子連れな
どの誘客を促し中心市街地での購買力向上や、交流人口の増加に繋げる。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

動物王国の運営を支援する市民・企業サポーター制度の導入や、飼料を低価格で購
入するため小売店を通さず農家や農業法人と直接取引するなど、一般財源の削減によ
る自主財源確保に取り組む。併せて、カフェ・物販機能を付加し、物販やスペース利
用に係る収入のほか、施設入場料設定等の検討により、施設の維持、修繕に係る経費
を始め、飼育に係る飼料、清掃費、水光熱費などの経費を賄う。

【官民協働】

行政が、設計段階から民間の意見を取り入れ、カフェ等の飲食機能、物産品等の販
売スペースを整備し、足羽山公園茶屋組合など民間事業者がサービスの提供、動物や
足羽山の自然を活かした物産品の商品開発、販売などの施設運営を行うことにより、
官民協働で収益施設の整備、運営に取り組む。

また、遊具メーカーの上屋敷工業株式会社、谷崎工業株式会社と協働し、誘客を図
るイベントを企画し、収益向上に取り組む。

【政策間連携】

本市の外郭団体である観光コンベンションビューローにおいて、ふれあい動物王国
を観光拠点に取り入れた、自然、歴史、食、文化を一度に満喫できる新たな旅行商品
を紹介するなど、まちなか観光との政策間連携により、滞在時間と観光消費の拡大効
果が生じる。

また、新幹線停車駅からアクセス至便な立地で、気軽に利用できる全天候型動物園
がある街として、子どもの情操教育の場、遊び場がある魅力を、特にファミリー層向
けにPRし、定住促進との政策間連携により、転出抑制の効果が図られる。

【地域間連携】

秋田市（秋田市立大森山動物園）と連携し、ワオキツネザル（秋田市）とカンガル
ー（福井市）の動物交換を皮切りに、ふれあい動物王国の集客の目玉となる動物展示
に地域間連携で取り組むとともに、メディア広報等により相互情報交換などを通じ、
入場者数のさらなる増加を図る。

また、県内各市町の鯖江市の伝統工芸体験、勝山市の恐竜博物館との連携を強化し、本県への滞在時間を長く誘導することで、ファミリー層がこれまでの日帰り観光から、宿泊観光で楽しむような流れをつくりだし、消費喚起を促進させる広域観光政策を展開する。

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 (1年目)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)
全天候型まちなかふれあい動物王国（足羽山遊園地含む）の入場者数	120,000人	0人	0人	10,000人
中心市街地の商店年間商品販売額	26,000百万円	0百万円	0百万円	1,000百万円
中心市街地の歩行者等通行量（平日・休日平均）	30,002人	0人	0人	3,000人

	平成31年度 (4年目)	平成32年度 (5年目)	KPI増加分の 累計
全天候型まちなかふれあい動物王国（足羽山遊園地含む）の入場者数	10,000人	10,000人	30,000人
中心市街地の商店年間商品販売額	1,000百万円	1,000百万円	3,000百万円
中心市街地の歩行者等通行量（平日・休日平均）	3,000人	3,000人	9,000人

⑥ 評価の方法、時期及び体制

毎年度、3月末時点のK P Iの達成状況を取りまとめ、大学、金融機関、福井商工会議所、市民団体等の有識者から構成する福井市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略有識者会議メンバーによる検証や議会の関与を得ながら、検証結果の報告をまとめる。検証結果はHP等で公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

①第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 157,000千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日（5カ年度）

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) まちなか滞在拠点化事業

事業概要：まちなかでの滞在時間を拡大するため、魅力あるまち歩きコースの開発やイベントの企画のほか、夜間の賑わいを創出する地域資源のイルミネーションによる演出を行う。

実施主体：福井市

事業期間：平成28年度～平成33年度

(2) 足羽山魅力向上計画（一部）

事業概要：足羽山周辺への誘客を図るため、福井市自然史博物館及び福井市水道記念館の改修を行う。

実施主体：福井市

事業期間：平成29年度～平成31年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

大学、金融機関、福井商工会議所、市民団体等の有識者から構成する福井市ま

ち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略有識者会議メンバーによる検証を行う。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 (1年目)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)
全天候型まちなかふれあい動物王国 (足羽山遊園地含む)の入場者数	120,000人	0人	0人	10,000人
中心市街地の商店 年間商品販売額	26,000百万円	0百万円	0百万円	1,000百万円
中心市街地の歩行者等 通行量(平日・休日平均)	30,002人	0人	0人	3,000人

	平成31年度 (4年目)	平成32年度 (5年目)	KPI増加分の 累計
全天候型まちなかふれあい動物王国 (足羽山遊園地含む)の入場者数	10,000人	10,000人	30,000人
中心市街地の商店 年間商品販売額	1,000百万円	1,000百万円	3,000百万円
中心市街地の歩行者等 通行量(平日・休日平均)	3,000人	3,000人	9,000人

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

毎年度、市のホームページ等にて公表する。